

## ウノハナ、ガクウツギ、ウスバシロチョウ、キビタキ、オオルリ・・・新緑と自然を満喫

5月6日(土)。県立奥武蔵自然公園(ルート: 虎秀~ユガテ~鎌北湖)。参加者27名(申込43名、抽選で参加者を決定)。担当: 西部ネット(スタッフ10名)。好天に恵まれ、様々な動植物に出会い、新緑の自然公園を満喫しました。



挨拶の後、3班に分かれて駅を出発、虎秀川沿いを歩き、ユガテをめざしました。川岸にはウノハナ。咲き始めなのででしょうか、花は真っ白です。「♪卯の花の匂う垣根に♪のウノハナはこれのこと?」という質問に、「そう。もう、そんな季節なんですね」と笑顔で応えるスタッフたち。

この集落はいつ来ても山里のぬくもりを感じさせてくれます。庭先の花木や果樹も。アケビの花を見つけて、雄花と雌花を観察しました(写真上)。山からは野鳥の声が届きます。キビタキの朗らかな声。ヒガラ♪の♪チョコキン、チョコキン♪。ガビチョウやヒヨドリの声も混じります。

林道に入るとウスバシロチョウがウノハナにまとわりついていました。「これ何? 何?」の声に、名前を明かさず、羽の透明感がいいですね。この時期だけの蝶ですと話すと、記憶にとどめようと、みなさんゆっくり観察して、「・・・きれい!」。ここからしばらく樹林が続きます。林床のホウチャクソウは、緑のグラデーションを感じ

させる筒状の花をつけて今が見頃。多くの方のカメラに収まりました。

登山道に入るとガクウツギの花やハナイカダがでできます。初めて目にする人も多く、「花筏」というしゃれた名前に感心されていました。

手入れがされた植林地は下草が豊富ですが、ここも鹿が入っているようです。「この小さな木の先が切られたようになっていま



ハナイカダの花が咲いていました



すが、誰の仕業でしょうか?」。そんな問いかけに林床を見つめ考える参加者たち(写真上)。解説の後は、「あ!ここも!ここも!」と食べ跡が分かるようになっていました。

この後、ユガテで休憩して、シシガシラやウラジロの斜面のエビガ坂をへて鎌北湖に下りました。途中、ヤブデマリを見たり、ヤマブキの香りを試したり、オオルリを探したり、とわくわく感は続きました。

昼食後は、本法人のリーフレットを配り、活動をPR。予定通り湖から遊歩道を下り、途中、直売所で一息入れて、解散地の駅に向かいました。(西部ネット・清水)